

血管を標的とするナノ医療の 実用化に向けた拠点形成

～がんを始めとする国民病を血管から治療する～

日時:平成 26年 6月27日(金) 13:30～

会場:北海道大学 医学部学友会館7ラテホール

趣旨

本シンポジウムは、本学初の部局横断型連携プロジェクト「血管を標的とする革新的医薬分子送達法の基盤技術の確立」（運営費交付金特別経費：平成21～25年）の成果を発表すると共に、平成26年より新たに開始する特別経費プロジェクト「血管を標的とするナノ医療の実用化に向けた拠点形成」の取り組みについて紹介する。

プログラム

開会の辞

高岡 晃教 教授・遺伝子病制御研究所長

理事挨拶

川端 和重 理事・副学長

来賓挨拶

文部科学省高等教育局

成果発表

腫瘍血管内皮の多様性解明と個別化血管新生阻害法の開発
樋田 京子 (遺伝子病制御研究所・血管生物学)

腫瘍血管内皮細胞とがん転移
間石 奈湖 (遺伝子病制御研究所・血管生物学)

腫瘍血管標的化リガンドを用いたsiRNA DDS
櫻井 遊 (薬学研究院・未来創剤学)

脂肪血管を標的とするナノ医療戦略
梶本 和昭 (薬学研究院・未来創剤学)

「血管を標的とする革新的医薬分子送達法の基盤技術の確立」のまとめと
「血管を標的とするナノ医療の実用化に向けた拠点形成」へ向けて
原島 秀吉 (薬学研究院・未来創剤学・薬剤分子設計学)

招待講演

血管新生の制御による血管病治療の新しいコンセプト
高倉 伸幸 教授 (大阪大学 微生物病研究所)

ナノバイオデバイスによるがん診断・治療とiPS細胞再生医療
馬場 嘉信 教授 (名古屋大学 大学院工学研究科)

閉会の辞

南 雅文 薬学研究院長

懇親会

ファカルティハウス「エンレイソウ」 (札幌市北区北11条西8丁目)
(会費:4000円)

主催:運営費交付金特別経費プロジェクト

「血管を標的とするナノ医療の実用化に向けた拠点形成」

北海道大学遺伝子病制御研究所

共催:日本薬学会北海道支部、日本生化学会北海道支部、日本分子生物学会北海道支部

事務局:薬学研究院・未来創剤学研究室 担当:阿部 (011-706-3919)

遺伝子病制御研究所・血管生物学研究室 担当:鈴木 (011-706-4325)



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY